



カンボジア王国首都プノンペン初の公共下水処理場整備事業が本格始動！ — 本市、海外水ビジネスの下水道案件で初の工事受注 —

- 北九州市海外水ビジネス推進協議会*の会員企業による共同企業体（JV）が、本市が支援する下水道の海外案件としては初となる、「プノンペン都下水処理場整備プロジェクト」の下水処理場建設を受注しました。
- このプロジェクトは、カンボジア王国プノンペン都では初めて公共下水処理場の建設となり、北九州市上下水道局は、この事業に対し官民連携して技術的支援を実施していきます。

1 背景

- ・カンボジア王国プノンペン都では、急速な人口増加などにより生活排水が増大しているにもかかわらず、下水処理場が未整備のため水路や湖の水質悪化が進んでいます。
- ・本市は、上水道事業においてこれまで20年以上にわたりカンボジア王国と技術支援を行っており、平成28年にはプノンペン都と姉妹都市協定を締結しました。この姉妹都市締結を機に、下水道分野でも官民が連携した技術支援を開始しました。
- ・現在、国際協力機構（JICA）により、水環境改善を目的としたプノンペン都初の下水処理施設の整備が進められており、北九州市もこのプロジェクトに参画しています。
- ・この度（令和3年4月20日）、この下水処理場の建設工事に北九州市海外水ビジネス推進協議会の会員企業が施工受注者として決定されました。

2 工事概要

- 実施機関：カンボジア王国プノンペン都公共事業運輸局
- 工事期間：32ヶ月
- 施設規模：下水処理場（処理水量5,000m³/日）、下水道管きよ（1.9km）
- 受注金額：23.4億円
- 構成企業：代表者 株式会社クボタ建設
 構成員 メタウォーター株式会社 } 北九州市海外水ビジネス推進協議会会員企業

3 北九州市のJVに対する支援内容

- ・建設段階（施工管理についての技術支援）
- ・運営段階（運転維持管理についての技術支援）

* 海外での水ビジネス展開を目的とした官民連携組織
（令和3年4月1日現在145社加盟）

【お問い合わせ】

北九州市上下水道局海外事業課
担当：平野（ひらの）、是此田（これこだ）
電話：093-582-3111

プノンペン都と北九州市の下水道技術交流等について

	フン・セン首相一行が来北。
H27. 7	商工会代表団とともに北九州市を訪問し、安川電機や日明浄化センター（ビジターセンター）など視察。フン・セン首相からプノンペン都と本市の姉妹都市締結を提案。
H28. 3	プノンペン都と姉妹都市協定を締結 パー・ソチアッタボン都知事が北九州市を訪問。
H28. 12	プノンペン都下水道マスタープラン（M/P）の策定 - JICA 発注の計画策定業務へ参画 （株）北九州ウォーターサービスとともに自治体の事業運営に基づいた助言を実施
H29. 2	下水道分野における技術協力・交流に関する覚書を締結
H29. 2 ～ R2. 2	「プノンペン都下水・排水施設管理能力向上プロジェクト」（JICA 草の根技術協力） - 現地技術指導 ポンプ場維持管理マニュアル作成、環境教育、市民啓発 - 研修員受入 など
H30. 4 ～ R1. 8	「プノンペン下水道整備計画準備調査」 - JICA 発注の調査業務を共同企業体の一員として受注 運営維持管理計画業務を担当
H31. 4 ～ 4年間	「プノンペン都庁及び公共事業・運輸省下水道管理能力強化プロジェクト」 - JICA 技術協力プロジェクトに専門家として職員を派遣 下水道事業の法制度策定支援、組織体制構築支援及び財務管理の能力強化
R1. 11 ～ R6. 7	「プノンペン都下水処理場整備プロジェクト」 - JICA 無償資金協力によるコンサルタント業務を共同企業体の一員として受注 主に施工管理や下水処理場の運転・維持管理に関する業務を担当
※R3. 4	プノンペン都下水処理場建設を北九州市海外水ビジネス推進協議会会員企業が受注

□今まで 44 名のカンボジア王国の下水道関係者が北九州市で研修（R3 年 3 月末現在）

・国土交通省研修（H26, H29）	8 名
・M/P 研修（H27）	10 名
・草の根研修（H29, H30）	13 名
・その他研修	13 名

□延べ 111 名の北九州市職員、専門家をプノンペン都に派遣（R3 年 3 月末現在）

<アウトプット>

- ・ポンプ場維持管理ガイドライン作成
- ・セミナーの開催
- ・環境教育の実践
- ・市民啓発活動の実践 など



ポンプ場の維持管理の指導



市街地の水路